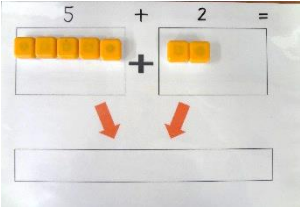
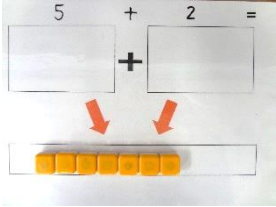
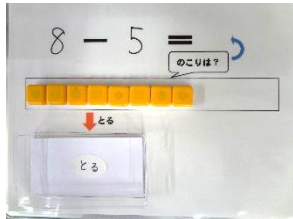
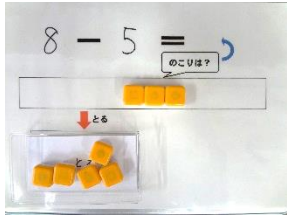
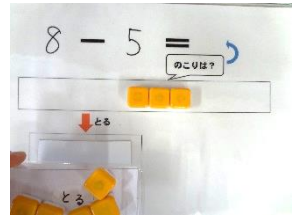
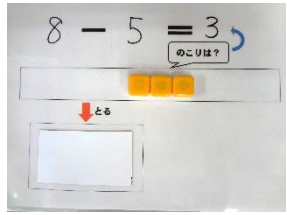


【作品名】 あわせていくつ？のこりはいくつ？	【学校名】 日立市立宮田小学校
【活用できる領域・教科等】 算数	【制作者名】 渡辺 真弓
【制作の意図】 ブロックの動かし方を分かりやすくすることで、たし算やひき算の意味を理解して、正しく計算できるようになる。	【制作上の工夫】 たし算では、ブロックを置いて両手を合わせることで、ひき算では、引く数のブロックをケースに入れてから取り去ることで、視覚的にとらえやすくした。
【写真】 <たし算> ①  ②  <ひき算> ①  ②  ③  ④ 	【使用方法】 <たし算> ①足される数分と足す数分のブロックを置く。 ②両手でブロックを合わせて、数える。 <ひき算> ①引かれる数分のブロックを置く。 ②引く数分のブロックをケースに入れる。 ③シートからケースを外して取り去る。 ④シートに残ったブロックを数える。
【材料・材質・部品等】 ・鉄製の平らな板 ・ラミネートした計算シート（ブロックが並べられる大きさで枠をとったもの。） ・底にマグネットを付けたケース ・マグネット入りブロック	【使用効果と応用発展】 ブロックを「合体！」「とる」というキーワードとともに実際に操作することで、「合わせる」「とる」「のこりは」の意味が理解できた。繰り返し練習することで、たし算やひき算の意味が分かり、ブロックを使わずに指や○を書いて計算することへつなげるステップとなった。